

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

通所介護事業やこども発達サポートセンターのご利用者に対し、安心安全のサービスを提供、家族の立場に寄り添うことで、地域の福祉に貢献する。健全な事業運営を行い、職種・性別・年齢問わず働きやすい職場を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	電力使用率の削減	・電力使用率削減 2023年度1508376円/年→ 2026年度1432957円/年(5% 減)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	清掃作業参加による地域社会への貢献	・2023年度0回→2026年度2回/ 年
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	労働環境の整備等による多様な働き方の推進	・若手人材の育成(管理職登用) 2023年度0名→2026年度2名 ・女性管理職割合 2023年度25%→2026年度 30% ・1名あたりの年間有給取得日数 2023年度10.7日→2026年度 11日

<パートナーシップ>

企業内部において、従業員一人ひとりの状況に応じ、働きやすい職場環境の整備に取り組み、利用者、地域医療機関、介護事業者、地域住民、関係事業者と介護・福祉事業者である自社との間に信頼関係(地域包括ケアシステム)を構築します。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。